

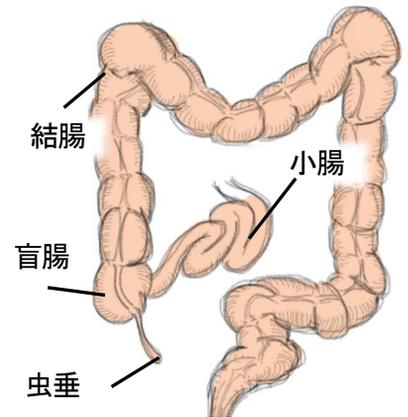
ちゅうすいえん こどもの虫垂炎

医学研究所北野病院 小児外科

虫垂炎とは？

虫垂は大腸の始まりである盲腸から伸びる小さい突起です。この部位に炎症をきたすことがあり、この状態を虫垂炎といいます。

炎症の強度により虫垂炎の重症度は大きく変わるため、身体所見や超音波検査・CTなどの所見を総合的に診て行くことが必要で、治療も進行度により変わります。



虫垂炎の進行度と治療

進行度	カタル性	蜂窩織性	壊疽性		
			非穿孔性	穿孔性 限局性膿瘍形成	穿孔性 汎発性腹膜炎
治療	保存的加療 <small>繰り返す場合は手術</small>	手術 + 抗菌薬治療 または 保存的加療希望の強い場合は抗菌薬治療	手術 + 抗菌薬治療	緊急手術 + 抗菌薬治療 または 保存的加療 + 3ヶ月程度後に手術 <small>保存的加療中に増悪ある場合は手術</small>	緊急手術 + 抗菌薬治療

保存的加療と手術の利点と欠点

	利点	欠点
保存的加療 (入院期間3-7日程度)	<ul style="list-style-type: none"> 体に傷をつけない 	<ul style="list-style-type: none"> 入院が長くなることがある 効果が不十分で症状が悪化し、結局手術が必要となることがある 再発の可能性が残る
手術 (入院期間3日程度)	<ul style="list-style-type: none"> 再発の可能性がない 保存的加療に比べて入院期間が短くなる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 体に傷がつく 手術に関連した合併症の可能性はある

こどもの虫垂炎に対する治療

医学研究所北野病院 小児外科

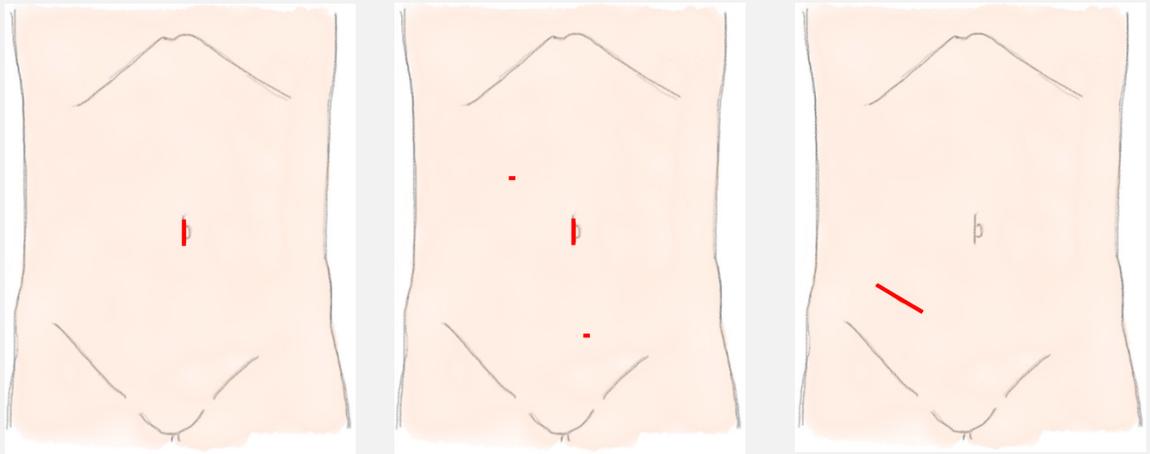
虫垂炎に対する治療は？

虫垂炎に対する治療は大きく分けて、抗菌薬による治療と手術治療があります。多くの場合、これらを組み合わせて治療を行います。

虫垂炎に対する手術

手術は傷の小さな腹腔鏡で行うことが基本です。虫垂の炎症の程度や位置により、傷の数や位置が患者さんごとに違います。

また稀ですが、虫垂炎の炎症が進むと腹腔内で臓器同士の癒着が起こり、腹腔鏡手術で行うのが困難な場合もあります。その場合は開腹手術になることもあります。



虫垂炎に対する手術の合併症

当院では合併症が起こらないように、様々な対策を取りながら手術と周術期管理を行っていますが、合併症を避けられない場合があり、その際は追加の治療が必要となることがあります。

合併症は虫垂炎の重症度が増すほどに多くなるため、速やかに診断・治療を行っていくことが重要です。

一般的に報告されている合併症

出血・感染(創部・腹腔内)・副損傷(血管・腸管・膀胱・尿管・肝臓・生殖器・その他腹腔内臓器)

術後癒着性腸閉塞・臍形態変化